



今年も師走です。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今回の写真は、10月末に行った一ノ倉沢の紅葉です。谷底には、数日前に降った雪が少し残っています。この日はご覧の通りの好天で紅葉も真っ盛りでした。上毛高原駅からのバスは、水上駅あたりから満杯となりましたが、大半は天神平行きのロープウェイに向かったようで、一ノ倉沢へは静かに紅葉を楽しみながら歩くことができました。

さて、かなり遅くなりましたが2月の確定表をお送りします。ロウバイの甘い香りに包まれて2月が始まります。ロウバイと言っても秩父のあの山ではなくて丹沢です。丹沢の寄口ロウバイ園ハ、日本最大級と言われています。ぜひ行ってみましょう。2月の締めは、曾我梅林と高尾梅郷です。その合間に陽だまりハイキングで、展望を楽しみます。気象庁の長期予報では春の訪れは早くなりそう。2月にも花を楽しめるそうです。

ところで内閣発足から2ヶ月ほどたった高市内閣の支持率、報道各社の世論調査では高い水準を維持しています。国民生活を直撃している物価対策などは、必ずしも評価が高いわけでもない。米価高に対して「おこめ券」って、物価高対策というより高値安定を意図した政策ではありませんか。高市内閣の「積極財政」にとって、円安→インフレは好都合ということなのかもしれません。国の借金で大判振る舞いした後には、新たな増税や医療費や福祉の改変が待っていることもお忘れなくと言いたい。

さらに気になるのは、台湾有事が「存立危機になり得る」との高市首相の国会答弁で始まった、中国との緊張関係です。この発言や、高市首相の強気の対中姿勢に対しては、高い支持率が報じられています。野党支持層からも半数近い支持があると言われています。批判精神が希薄で、危うい雰囲気を感じています。高市首相の発言は、日本の国土ではない、また同盟関係にない地域での中国の軍事行動に、日本の自衛隊が対抗して軍事行動を起こす、すなわち戦争すると宣言したも同然の発言です。もっと強気で行けという意見も多いと報じられています。かつて日本には軍部だけでなく、世論も沸騰し、侵略戦争に突入した過去があります。挙げ句の果てに数知れない他の民や自国民を死に追いやった歴史があります。そんな悪夢のような亡靈が跋扈しないことを願うばかりです。

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！